補助資料について

・スライドの意図理解や使用方法の助けを目的とした資料です。

・アニメーションの順番や必要ない欄については、使用時に独自でアレンジし活用ください

『イメージ』で理解する化学　その2：原子量・分子量・式量

スライド２

・生徒の実態に応じて、計算式の説明の前にスライド２を用い、原子量の数値の捉え方についてイメージ化させ、再びスライド１で計算式に戻り説明する方法もある。

スライド３

・約1%の割合で質量数13の炭素が混ざっている例を炭素原子100個で考える資料。

・実際の実験では、100個ではなく、莫大な数を使うわけだから相対質量13の炭素の数も多く、相対質量12の値だけを炭素として用いると他の物質と比較するうえで誤差が大きくなることにも触れる。

スライド４

補足なし。

スライド５

・金属は、元素記号がそのまま組成式に用いられるので原子量が式量となる。

・電子は、陽子・中性子に比べ質量が1840分の1であることも伝え、イメージを持たせてもよい。

スライド６

補足なし。